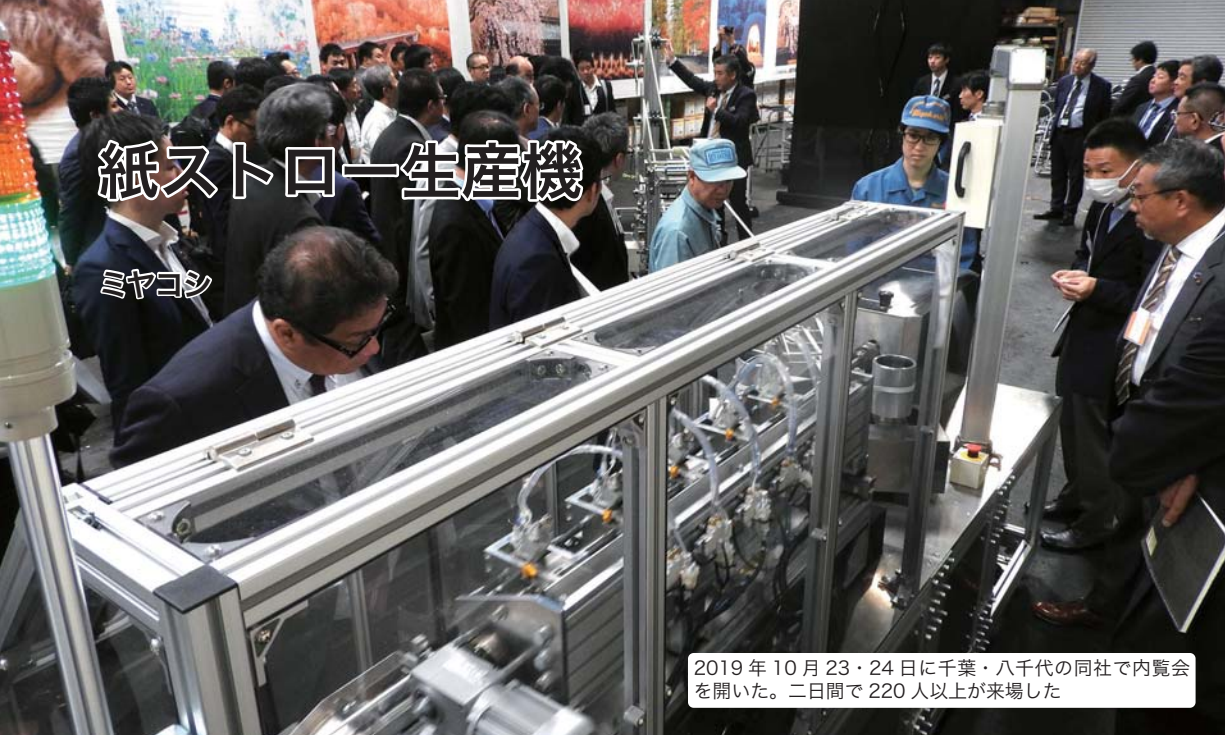


# 紙ストロー生産機

ミヤコシ



世界で「海洋プラスチック」の問題が話題になっているのは周知のとおりである。WWFのWebサイトによると、世界の海に存在しているといわれるプラスチックごみは、合計1億5000万トンという。海洋ゴミの影響を直接受けているのが魚類、海鳥、アザラシなどの海洋哺乳動物だが、とくにウミガメの鼻にプラスチックストローが突き刺さっている映像は、世界各国に衝撃を与えた。

なるべくプラスチックごみを減らそうと、後述する外食チェーンをはじめ、プラスチックストロ

ーを紙製に代える企業が出てきているのも周知のとおりである。

## 国産の紙製ストロー

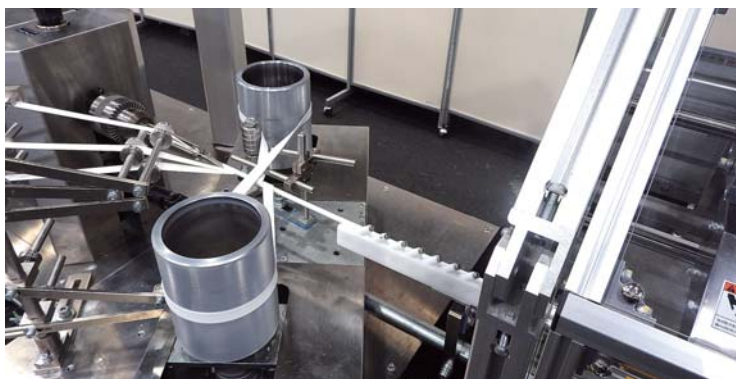
(株)ミヤコシ(宮腰亨社長)は、2019年前半から紙ストロー生産機を開発しており、8月に1号機が顧客に導入され、実稼働しているという。同社によるとプラスチックストローを廃止し紙ストローの導入を発表している企業(店)は、すかいらーく、マクドナルド、セブン&アイ・フードシステムズ、日本ケンタッキー・フライド・チキ



紙ストロー生産機 STO-001



宮腰 亨社長



紙ストロー生産機は3～5の帯状の紙を円筒の竿に巻き付けてストロー（紙筒）を作る

ン、大戸屋、セブン-イレブン、スターバックスコーヒー、ワタミ、ネスレ、モスバーガー、ローソン、くら寿司、成田空港、リンガーハット、王将など。

紙ストロー生産機「STO-001」は無害・安全性を志向し、糊はヘンケル製を使用している。同機の特長は、1) タッチパネルによるワンマン操作、2) 最高生産性150本/分（直径6mm×200mm時）、3) 6mm径からタピオカ用10mm

径まで対応、4) 給紙リールがオプションで5巻まで対応（標準は3巻）、5) ストローの長さは5本のカッティングナイフの位置で調整、6) メンテナンス体制完備。リールスタンド、グルーユニット、フォーミングユニット、カッティングユニットで構成し、基本仕様は、ストロー長さ120～225mm、給紙幅12～28mm、紙厚0.5～1mm。各種カスタマイズ可能。参考本体価格は1300万円ほどという。（編集部）

## 紙ストロー生産機 *STO-001*

プラスチックから紙製への需要が高まる 国産高速紙ストロー生産機



株式会社 **ミヤコシ**

<https://www.miyakoshi.co.jp>

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 1-13-5

TEL:047-493-3854 FAX:047-493-3071